

## みずほマーケット・トピック(2019年5月31日)

## 週末版

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照くださいませ。

## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は揉み合う展開。週初 27 日に 109 円台前半でオープンしたドル/円は、ロンドン、ニューヨークが休場となる中、日米首脳会談において為替や自動車輸出規制などの具体的な要求が出なかったことから 109 円台半ばで底堅く推移した。28 日は米 5 月消費者信頼感指数の良好な結果を好感すると、ドル/円は 109 円台後半まで上昇したが、その後は米金利低下に伴い 109 円台前半まで反落した。29 日は前日の米株価の下落を受けて日経平均株価も下落する中、ドル/円も一時週安値となる 109.15 円まで連れ安に。その後も米中貿易摩擦の長期化懸念を背景に 109 円台前半で推移するも、米 7 年債入札が弱かったことから大幅低下していた米金利が反転上昇する動きに 109 円台後半まで上昇。30 日も米中貿易摩擦への懸念が熾りつつも月末絡みのドル買いフローがドル/円を押し上げ、一時週高値となる 109.92 円をつけた。だが、その後は米 4 月中古住宅販売仮契約が予想を下回ったことなどから 109 円台後半まで反落。本日は、トランプ米大統領がメキシコの全製品に 5%の関税をかけると発言したことなどから 109 円台前半まで急落している。
- 今週のユーロ/ドル相場は軟調推移。週初 27 日に 1.12 台ちょうど近辺でオープンしたユーロ/ドルは、ロンドン、ニューヨークが休場となる中、一時週高値となる 1.1215 をつけるも、その後は 1.11 台後半まで軟化。28 日は、EU がイタリアに制裁金を課す可能性を取り沙汰される中、欧州株価の弱い動きにユーロ/ドルは 1.11 台後半で上値重く推移し、米 5 月消費者信頼感指数の良好な結果を受けたドル買いに 1.11 台半ば近辺まで下落した。29 日にかけても軟調推移が継続する中、株安を受けたユーロ/円の売りや月末絡みのドル買いの思惑も加わり、ユーロ/ドルは 1.11 台前半まで値を下げた。翌 30 日には米中貿易摩擦への懸念から逃避的なドル買いが強まると一時週安値となる 1.1116 をつけたが、この水準ではユーロ買い意欲もあり、米金利低下を受けたドル売りもあって 1.1140 近辺まで値を戻した。本日のユーロ/ドルも同水準で小動きとなっている。

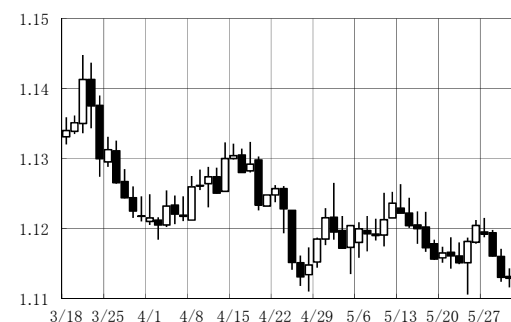
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

ドル/円相場の動向

|              |          | 前週末       | 今 週       |           |           |           |
|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              |          | 5/24(Fri) | 5/27(Mon) | 5/28(Tue) | 5/29(Wed) | 5/30(Thu) |
| ドル/円         | 東京9:00   | 109.56    | 109.40    | 109.52    | 109.37    | 109.57    |
|              | High     | 109.75    | 109.59    | 109.63    | 109.70    | 109.92    |
|              | Low      | 109.28    | 109.28    | 109.21    | 109.15    | 109.48    |
|              | NY 17:00 | 109.30    | 109.55    | 109.37    | 109.59    | 109.63    |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 1.1184    | 1.1207    | 1.1193    | 1.1168    | 1.1137    |
|              | High     | 1.1212    | 1.1215    | 1.1198    | 1.1172    | 1.1144    |
|              | Low      | 1.1177    | 1.1187    | 1.1159    | 1.1124    | 1.1116    |
|              | NY 17:00 | 1.1205    | 1.1192    | 1.1161    | 1.1131    | 1.1129    |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 122.54    | 122.60    | 122.58    | 122.14    | 122.00    |
|              | High     | 122.82    | 122.80    | 122.70    | 122.20    | 122.25    |
|              | Low      | 122.43    | 122.49    | 121.99    | 121.59    | 121.90    |
|              | NY 17:00 | 122.47    | 122.59    | 122.04    | 121.98    | 122.01    |
| 日経平均株価       |          | 21,117.22 | 21,182.58 | 21,260.14 | 21,003.37 | 20,942.53 |
| TOPIX        |          | 1,541.21  | 1,547.00  | 1,550.99  | 1,536.41  | 1,531.98  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 25,585.69 | -         | 25,347.77 | 25,126.41 | 25,169.88 |
| NASDAQ       |          | 7,637.01  | -         | 7,607.35  | 7,547.31  | 7,567.72  |
| 日本10年債       |          | -0.07%    | -0.07%    | -0.07%    | -0.10%    | -0.08%    |
| 米国10年債       |          | 2.32%     | -         | 2.27%     | 2.26%     | 2.21%     |
| 原油価格(WTI)    |          | 58.63     | -         | 59.14     | 58.81     | 56.59     |
| 金(NY)        |          | 1,283.60  | -         | 1,277.10  | 1,281.00  | 1,292.40  |



ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- ・米国では、6月7日に5月雇用統計が発表される。非農業部門雇用者の増加数は市場予想で前月比+19.0万人。市場予想からの大きな上振れがみられた前月の同+26.3万人からは縮小するものの、比較的高い水準の増加数が予想されている。また、失業率は3.6%と前月から横ばいの見通しだ。新規失業保険申請件数や失業保険継続受給者数ともに歴史的に見れば低水準を維持、3月求人者数は物流関係(輸送や倉庫)等をはじめ高い水準にある。より良い職を求めて従業員の自発的離職率も依然として高水準にあり、雇用環境は引き続きタイトとみられる。こうしたなか、平均時給が前年比+3.2%と前月(同+3.2%)から横ばい、週平均労働時間については34.5時間とわずかに増加すると市場では予想されている。なお、金融政策関連では、今晚31日(金)にウィリアム NY 連銀総裁による金融政策の理論と実践に関するディスカッションが予定されている。4日(火)にはウィリアム NY 連銀総裁が金融業界のガバナンスと風土改革に関する会合で挨拶するほか、パウエル議長は中央銀行の政策の枠組みに関する会合で挨拶する予定。5日(水)には地区連銀経済報告(ページブック)が公表される。6日(木)には、ウィリアム NY 連銀総裁が世界経済についてのディスカッションに参加する予定である。
- ・欧州では、6月6日(木)にECB政策理事会が開催される。前回(4月10日)会合では、政策金利である主要リファイナンスオペ(MRO)金利を0.00%、市場の上限金利となる限界貸出金利は0.25%、そして市場の下限金利となる預金ファシリティ金利を▲0.40%とそれぞれ据え置き、上限金利と下限金利の差であるコリドーも0.65%ポイントで維持とした。他方、声明文には「金融仲介機能への副作用があれば、これを緩和する一手を検討する」という旨の一文が加えられた。マイナス金利の副作用が憂慮され、それを緩和する一手が検討されていることが示唆された格好だ。前回会合では特段の情報が示されなかっただけに、今会合では階層化システムやTLTRO3についての議論の進捗が注目されそうだ。特に、TLTRO3については、3月会合で9月開始を宣言しており、その詳細は6月ないし7月に公表する必要があるとみられてきたためだ。

|          | 本 邦                        | 海 外                                                    |
|----------|----------------------------|--------------------------------------------------------|
| 5月31日(金) | -----                      | ・米4月個人消費支出 ・米5月シカゴ購買部協会景気指数<br>・米5月ミシガン大学消費者マインド指数(確報) |
| 6月3日(月)  | ・1～3月期法人企業統計<br>・5月自動車販売台数 | ・米5月ISM製造業景気指数<br>・米4月建設支出 ・米5月自動車販売                   |
| 4日(火)    | ・5月マネタリーベース<br>・5月サービス業PMI | ・ユーロ圏4月失業率 ・ユーロ圏5月消費者物価(速報)<br>・米4月カンファレンスボード消費者信頼感指数  |
| 5日(水)    | -----                      | ・米5月ADP雇用統計 ・米5月ISM非製造業景気指数                            |
| 6日(木)    | -----                      | ・ECB政策理事会<br>・ユーロ圏1～3月期GDP(確報) ・独4月製造業受注<br>・米4月貿易収支   |
| 7日(金)    | ・4月景気動向指数(速報)              | ・米1～3月期資金循環 ・米5月雇用統計                                   |

### 【当面の主要行事日程(2019年6月～)】

日銀金融政策決定会合(6月14～15日、7月29～30日、9月18～19日)

米FOMC(6月18～19日、7月30～31日、9月17～18日)

ECB政策理事会(7月25日、9月12日、10月24日)

G20財務相・中央銀行総裁会合(6月8～9日、福岡)、G20サミット(6月28～29日、大阪)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)

[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です  
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

| 発行年月日       | 過去6か月のタイトル                                    |
|-------------|-----------------------------------------------|
| 2019年5月29日  | 米為替政策報告書を受けて～ドル高への不満も～                        |
| 2019年5月28日  | 円安リスクの点検～円高リスク高まった5月～                         |
| 2019年5月27日  | ECB政策理事会議事要旨～衰える基本シナリオの信認～                    |
| 2019年5月24日  | 週末版                                           |
| 2019年5月23日  | ブレグジットQ&A～メイ辞任、再国民投票、勝負の6月～                   |
| 2019年5月22日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年4月分)                   |
| 2019年5月21日  | ユーロ相場の需給と「ドルしか買えない」状況                         |
| 2019年5月20日  | 「ドル=7.00」の攻防再び                                |
| 2019年5月17日  | 週末版(円相場の需給環境について～建値通貨別でユーロ建て証券投資が過去最大に～)      |
| 2019年5月15日  | 景気動向指数の「悪化」判断と増税の先行きについて                      |
| 2019年5月14日  | 関税引き上げと通貨安～元安対抗にも限界あり～                        |
| 2019年5月13日  | 米中協議は実質決裂へ～舞台は大阪G20へ？～                        |
| 2019年5月10日  | 週末版(「中央銀行の独立性」とトランプの口先介入～「失言」と割り切って良いのか？～)    |
| 2019年5月9日   | 「相応の理由」なき投機のドル買いはいつまで続くか                      |
| 2019年5月7日   | 追加関税騒動について～半年間の努力はどこへ～                        |
| 2019年4月26日  | 週末版                                           |
| 2019年4月24日  | 薄氷のドル高相場～賭けるべき「次の一手」は～                        |
| 2019年4月23日  | 10連休を契機に考える休日増加の功罪                            |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年3月分)                   |
| 2019年4月22日  | 円安リスクの点検～年後半は「米国 vs. 欧中」～                     |
| 2019年4月19日  | 週末版(ユーロ圏PMIを受けて～「底打ち」しても正常化は別の話～)             |
| 2019年4月18日  | ドル高を容認できない中国の経常収支                             |
| 2019年4月17日  | 相次ぐECBの「次の一手」に関するヒント                          |
| 2019年4月16日  | 「改善の極み」を指摘したIMF～循環的なピーク～                      |
| 2019年4月15日  | ECB政策理事会～階層化とTLTRO3の取り扱い～                     |
| 2019年4月12日  | 週末版(やはり直面した「欧州らしい結末」～臨時EU首脳会議を受けて～)           |
| 2019年4月10日  | IMF世界経済見通し～「副題」で見る世界経済の変遷～                    |
| 2019年4月9日   | 円相場の基礎的需給環境～「均衡」がもたらすレンジ～                     |
| 2019年4月8日   | ブレグジット情勢を巡るQ&A～臨時首脳会議を前に～                     |
| 2019年4月5日   | 週末版(ドイツがけん引するユーロ圏の減速～大崩れしたドイツ製造業受注～)          |
| 2019年4月4日   | 外貨準備構成通貨の現状(18年12月末)                          |
| 2019年4月3日   | ECBはマイナス金利を階層化するのか？                           |
| 2019年4月2日   | 円高を阻む経常収支構造の変化                                |
| 2019年4月1日   | 「恵まれた為替環境」を再確認した内閣府調査                         |
| 2019年3月29日  | 週末版                                           |
| 2019年3月26日  | 円安リスクの点検～敢えて考える円安リスク～                         |
| 2019年3月25日  | 「自分の尾を追う犬」となったFRBと景気後退の考え方                    |
| 2019年3月22日  | 週末版(コミュニケーションが荒れ始めたFRB～本末転倒感の拭えないドットチャート～)    |
| 2019年3月20日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年2月分)                   |
| 2019年3月18日  | 「ユーロ圏の日本化」の正しい読み方                             |
| 2019年3月15日  | 週末版(ブレグジット交渉、当面の読み方～人質戦略は奏功するのか？～)            |
| 2019年3月14日  | 「地方の南欧化」を想起させる業種別一律最低賃金                       |
| 2019年3月13日  | ブレグジット、「2度目の否決」と「新たな期限」                       |
| 2019年3月12日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年1月分)                   |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年12月分)                  |
| 2019年3月8日   | 週末版(ECB政策理事会を終えて～ドラギ総裁は1度も利上げできずに退任へ～)        |
| 2019年3月5日   | 米金利上昇&ドル高を阻む「ドル化した世界」                         |
| 2019年3月4日   | 大統領のドル高けん制～不安な「相手国が悪い」という理屈～                  |
| 2019年3月1日   | 週末版(金融政策格差に落ち着いた年初の2か月間～互いに「住む世界が違う」様相～)      |
| 2019年2月27日  | 米中貿易協議再延期を受けて～現状と展望の整理～                       |
| 2019年2月25日  | 円安リスクの点検～想定外の米経済堅調が招く円安～                      |
| 2019年2月22日  | 週末版                                           |
| 2019年2月21日  | FOMC議事要旨～「patient」の舞台裏～                       |
| 2019年2月20日  | 自動車関税を前に考える日欧の立ち位置                            |
| 2019年2月18日  | 停滞する日米欧中銀への期待と為替相場                            |
| 2019年2月15日  | 週末版(米小売売上高ショックをどう読むか？～懸念される逆資産効果～)            |
| 2019年2月14日  | 看過できない仏伊関係の悪化～大戦以来の大使召還～                      |
| 2019年2月13日  | ドル/円相場は新常態にあるのか？                              |
| 2019年2月12日  | 変わりそうにない対外直接投資の潮流                             |
| 2019年2月8日   | 週末版(2018年の円相場の基礎的需給環境～対外証券投資への期待は難しそうな2019年～) |
| 2019年2月7日   | 次期ECB総裁レースの現状整理                               |
| 2019年2月6日   | バイマン独連銀総裁も認める景気減速の現状                          |
| 2019年2月5日   | ブレグジット交渉を巡るQ&A～今一度行う現状整理～                     |
| 2019年2月1日   | 週末版                                           |
| 2019年1月31日  | FOMCを受けて～正常化プロセスの終了～                          |
| 2019年1月29日  | 「株価ファースト」という誤解を招きかねないB/S縮小戦略                  |
| 2019年1月28日  | 円安リスクの点検～円高のメインシナリオを揺るがすもの～                   |
| 2019年1月25日  | 週末版(ECB政策理事会を終えて～「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁～)       |
| 2019年1月24日  | 日銀金融政策決定会合を受けて～「願望」すら難しい状況に～                  |
| 2019年1月22日  | 堅調なユーロ相場の背景にある欧州の減速                           |
| 2019年1月21日  | 対米貿易黒字ゼロ計画について～マッチポンプは終わらず～                   |
| 2019年1月18日  | 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況～市場のメインシナリオは転換済み～)    |
| 2019年1月17日  | 英国情勢の論点整理～「壮大な茶番劇」に終わるか～                      |
| 2019年1月11日  | 週末版                                           |
| 2019年1月8日   | 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」                            |
| 2019年1月7日   | 「バブルは崩れてからがバブル」という考え方について                     |
| 2019年1月4日   | 波乱の幕開けの読み方～猪突猛進の円高スタート～                       |
| 2018年12月27日 | 3つの論点で要約する19年見通し                              |
| 2018年12月25日 | FRB議長解任騒動について～真正正銘のリスクオフを前に～                  |
| 2018年12月21日 | 週末版(FOMCを終えて～新局面への第一歩、為替への影響は～)               |
| 2018年12月19日 | FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー                      |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分)                  |
| 2018年12月17日 | 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか？                     |
| 2018年12月14日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～「高まる警戒」と「続く自信」～)             |
| 2018年12月12日 | 2019年、世界経済の勘所～利上げの真価が現れる年～                    |
| 2018年12月11日 | ECB政策理事会プレビュー～再投資方針の行方～                       |
| 2018年12月10日 | 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU                         |
| 2018年12月7日  | 週末版                                           |
| 2018年12月5日  | 遂に発生した逆イールド～金利に追隨する株価～                        |
| 2018年12月4日  | バリ暴動の読み方～2つの懸念～                               |
| 2018年12月3日  | 米中首脳会談～2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」～               |